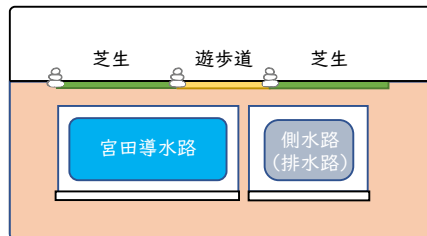


農業用水路沿いのスポットのご紹介

宮田導水路は犬山市から扶桑町を通り江南市まで続く、全長9.8kmの農業用水路です。昔は開渠かいきょ〈上部が開いている水路〉でしたが、生活雑排水の流入等による水質の悪化を防ぐために国営新濃尾土地改良事業により暗渠化あんきょ〈水路の上部に蓋をして、地中に埋設〉しました。

暗渠化したことで用水路の上部を活用できるようになり、愛知県の県営水環境整備事業により宮田導水路の上部には、約4.4kmの遊歩道を整備しています。



遊歩道の周辺には、すいとびあ江南やフラワーパーク江南、蘇南公園といった楽しめるスポットがたくさんあります！お休みの日などに遊歩道沿いを散策してみてもいかがでしょうか！

宮田導水路には木曾川の水が流れています。この水は農業用水として犬山頭首工で取水され、農地に供給されます。農業用水路は安定的な農作物の生産を支える大切な施設なのです。



すいとびあ江南



蘇南公園



☆ホームページ紹介☆ こんな内容も掲載しています。よろしければ、のぞいてみてください！

- ① 新濃尾農地防災事業の紹介動画はこちら。
・濃尾平野の農業を守る
～濃尾平野 水と戦い水を活かす～



- ② 新濃尾事業所PR動画を公開しています。
・都市的地域における
農業用水路の改修工事



- ③ 東海農政局職員のお仕事紹介動画を公開しています。
・入省1年目！
1日の仕事～防災課編～



新濃尾農地
防災事業所
ホームページ



東海農政局
ホームページ



農林水産省
ホームページ

ご意見・ご質問は新濃尾農地防災事業所ホームページのお問い合わせフォームから！

編集・発行

農林水産省 東海農政局
新濃尾農地防災事業所
〒491-0903
愛知県一宮市八幡5-1-14
TEL：0586-47-7720

リフレッシュ濃尾用水

農林水産省東海農政局
新濃尾農地防災事業所
2024年9月第102号

Topics!

- ★犬山頭首工小水力発電所完成式を開催しました
- ★犬山頭首工小水力発電所の工事振り返り
- ★犬山頭首工の管理
- ★農業用水路沿いのスポットのご紹介



犬山頭首工小水力発電所完成式を開催しました

令和6年9月5日（木）、国営新濃尾土地改良事業の地元推進組織である濃尾用水協議会が主催する「濃尾用水 犬山頭首工小水力発電所完成式」が開催されました。

犬山頭首工小水力発電所は、国営事業により令和3年度から整備を進めてきた施設です。完成式には、瀬戸協議会長（宮田用水土地改良区理事長）、大村愛知県知事、足立岐阜県農政部長、原犬山市長、浅野各務原市長ら関係者約40名が出席し、小水力発電所の完成を祝いました。秋葉東海農政局長が挨拶、川中新濃尾農地防災事業所長が施設の概要説明を行った後、大村知事から祝辞を頂きました。

完成式の終了後に行った、小水力発電所の現地見学会では、大村知事を始めとする参加者へ工事の特徴や犬山頭首工の果たす役割の説明を行い、小水力発電及び濃尾用水への理解を深めていただきました。

小水力発電所は、令和6年10月から稼働する予定としています。

今後、小水力発電所が稼働することにより、カーボンニュートラルの取組の一つとなる再生可能エネルギーの導入の拡大に貢献するとともに、地域農業を持続的に下支えていくことが期待されています。

○犬山頭首工小水力発電所の諸元
位 置 : 愛知県犬山市
最大出力 : 199kW
最大使用水量 : 8.0m³/s (通年)
有効落差 (最大) : 3.25m
稼働開始 : 令和6年10月 (予定)



瀬戸濃尾用水協議会会長の挨拶



大村愛知県知事と秋葉東海農政局長に説明する事業所職員



完成式でのテープカットの様子

犬山頭首工小水力発電所の工事の振り返り

犬山頭首工小水力発電所の整備は令和3年度～令和6年度にかけて行われました。
写真で小水力発電所の工事について振り返ります。

○発電所の本体となる放水槽（コンクリート構造物）の工事



施工前



施工中



完成

○工場で製作した水中タービン発電機の据付工事



水中タービン発電機組立



水中タービン発電機の吊り込み



完成

○工場で製作したゲートの据付工事



施工前



入ロゲートの据付



完成

○工場で製作した除塵設備^{じょじん}の据付工事



施工前



除塵設備の据付



完成

○水管理システムの設置工事



光ケーブルの敷設



カメラ設置



開閉所の操作卓

犬山頭首工の管理

○犬山頭首工の概要

一級河川木曽川に位置する犬山頭首工は、岐阜県及び愛知県の農地への用水供給を目的に、国営濃尾用水土地改良事業（昭和32年～昭和42年）により造成されました。

その後、木曽川の河床低下や重度なる洪水に伴い補修整備を行ってきましたが、平成10年度に着手した国営新濃尾土地改良事業において、エプロンの補強、下流護岸床工の改修、魚道・舟通しの改築、管理橋・管理所の改築を行い、現在の姿となりました。



犬山頭首工



管理所



右岸魚道

○犬山頭首工の管理

国営事業により造成された頭首工等の農業水利施設は、受益者である土地改良区や自治体によって管理されます。犬山頭首工は施設及び受益が岐阜・愛知両県にまたがっていること、管理に当たって上下流の治水や上水等の関係他機関との調整が必要なこと、またそれに伴う技術的な配慮を必要とすることから、昭和41年から農林水産省が24時間体制で管理を行っています。



管理所内の操作室



除塵作業の様子



舟通しクレーン